

日本食品化学学会・奥伊勢バイオサイエンスセンター共催セミナー開催のお知らせ

## “食品科学研究のための基礎セミナー：食品とエビデンス”

### 【開催趣意】

食品/食材(食品と総称)関係の研究分野にもグローバル化の波が急速に押し寄せており、関係学会はこれにどのように対応するかで苦慮しております。このような世情の急速な動きの中で、食品企業や公的試験研究機関の組織効率化や、大学における大講座制の促進などによって、各組織での研究者の人材育成が改めて見直されつつあります。

本セミナーは、食品と関連する企業、大学、公的試験研究機関等で実験/試験に携わる研究並びに開発者(研究者と総称)を対象として、食品分野での研究の重要性や考え方並びに方法論の基礎と応用について共に学ぶことを主眼としています。研究者にとって研究テーマの設定、研究の方向性や方法、さらには関連領域の学術情報収集と理解、研究結果のまとめと公表は根源的な課題です。本セミナーではこのような課題を皆で議論して、体得し共にグローバルで自立した研究者として成長することにより、食品分野の基礎研究並びに企業での開発研究が継続的に活性化される場の提供・協力を行うことを主な趣旨と考えております。

一方で、若手の育成には中堅研究者や研究統括者の意識改革も重要であることから本セミナーではこれにも焦点を当てた企画を考えております。さらに、発表された論文が機能性表示や栄養疫学における「科学的根拠(エビデンス)」を提供すると同時に、ときには情報バイアスの発生源となる場合があるという社会的な課題にも目を向けて企画内容を検討致します。また、日頃の研究開発業務を通して経営的立場にある方々がどのように人材を育成するかについての手法を学ぶ活動も取り入れたいと考えております。

### 【主催】

日本食品化学学会  
一般社団法人奥伊勢バイオサイエンスセンター(奥伊勢BSC)

### 【開催概要】

- ・日時：2016年2月13日(土) 13:00~17:00(予定)
- ・場所：アスト津 4階 会議室1(三重県津市羽所町700/津駅に隣接)  
(津駅には名古屋から約1時間、大阪から約1.5時間)  
[http://www.ust-tsu.jp/access\\_parking/index.html](http://www.ust-tsu.jp/access_parking/index.html)
- ・参加費：個人/団体・法人会員(日本食品化学学会・奥伊勢BSC)：1,000円、  
公的試験研究機関(非会員)：2,000円、大学(非会員)：5,000円、  
企業(非会員)：10,000円  
※いずれも当日会場にてお支払いをお願い致します。
- ・参加申込：日本食品化学学会HPの「[登録・お問合せ](#)」よりお申込頂くか、  
奥伊勢BSC事務局 [s.takizawa@tsuji-seiyu.co.jp](mailto:s.takizawa@tsuji-seiyu.co.jp) 宛てに①ご氏名、②ご所属名、③ご連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)、④会員区分を明記し、お申込み下さい。(定員50名。定員に達し次第受付終了となります。)

### 【問合せ先】

- ・日本食品化学学会事務局 e-mail：[shokuhinkagaku@jsfcs.org](mailto:shokuhinkagaku@jsfcs.org)  
〒561-8588 大阪府豊中市三和町1-1-11 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 検査部内  
担当：森本・楠田 TEL:06-6333-0521 FAX:06-6333-3437
- ・奥伊勢BSCサイト <http://okuise-bsc.com/> の「お問い合わせ」をご利用下さい。

## 食品科学研究のための基礎セミナー プログラム

12:30 受付開始 進行係：森本 隆司  
総合司会：松尾 雄志（ファシリテーターを兼ねて）

13:00-13:10 はじめに【10分】

『共催の経緯と趣旨説明：実験研究の成果発表（エビデンス）の重要性も含めて』  
奥伊勢バイオサイエンスセンター 理事長 松尾 雄志

13:10-14:10 セミナー概要【60分】

『学術論文の読み方、書き方（基本編）：  
Regulatory Scienceにおける論文の意味を踏まえて』  
国立医薬品食品衛生研究所・食品部長（日本食品化学学会理事） 穂山 浩

＝休憩 10分（質疑応答を含む）＝

14:20-15:20 セミナー各論(1)【各30分】

～論文の書き方：実験研究の結果のまとめ、報告そして論文に～

- 1) 『文献検索など情報収集の具体例～実験から発表/論文までの経験談も～』  
三重大学大学院・地域イノベーション学研究科 教授 矢野 竹男
- 2) 『論文投稿の前と後～投稿規定の調査からリバイスまで～』  
藍野大学・医療保健学部 特任教授 田中 弘一郎

＝休憩 10分（質疑応答を含む）＝

15:30-16:30 セミナー各論(2)【各30分】

- 3) 『衛生研究所での Case Report を論文という形にしませんか』  
大阪府立公衆衛生研究所・感染症細菌課 課長 久米田 裕子
- 4) 『論文が出来上がるまでの実例（上級編）』  
東京工科大学・応用生物学部 教授 今井 伸二郎

16:30-17:00 ディスカッション【30分】

▶ 参加者からの「ここが分からない」を幾つか取り上げて討論します。

17:10-19:30 交流会（無料）

▶ ホテルグリーンパーク津（アスト津1階）のカフェレストラン「ル・ベール」にて

以上